



「変化球男子」
M.G.ヘネシー／作 鈴木出版 (Y933 へ)

シェーンは、身体は女の子で生まれてきたけど、頭は男の子というトランスジェンダー。このことは、仲のいい友だちにも話していない。しかし、ずっと秘密にしていることに悩んでいた。そんなとき、シェーンが女の子として過ごしていた頃の写真が学校に出回ってしまう。




「羊の告解」
いとう みく／著 静山社 (YFイ)

周平は父、母、弟の4人家族。彼が中学3年の夏に、父親が人を殺したということで逮捕されてしまう。このことで、引っ越しや転校などをするため生活が一変する。また、突然、加害者家族になってしまったことが周平を苦しめていく。




「トムは真夜中の庭で」
フィリパ・ピアス／作 岩波書店 (Y933ト)

トムは、弟のピーターがはしかにかかってしまったため、おじさんの住むアパートへ預けられる。ある日の真夜中に、アパートに置いてある大時計が、ありえないことに13時を打つ音を聞く。この音のことを調べに大時計のもとへやってきたトムは、アパートにはあるはずのない庭を見つける。




「セカイの空がみえるまち」
工藤 純子／著 講談社 (YFク)

帰宅途中で新大久保駅の近くにあるコリアンタウンへ立ち寄った空良。そこで目にしたのは、日本人がここで暮らす外国人に驚かされる光景で、テレビなどで目にする「ヘイトスピーチ」そのものだった。彼女は自分の身近でこんなことが起きていることに衝撃を受ける。




「いいたいことがあります!」
魚住 直子／作 偕成社 (YFウ)

6年生の陽菜子は、いつもお母さんから勉強や家の手伝いをするように言われて不満を感じていた。そんな彼女の前に、スージーと名乗る不思議な女の子があらわれる。その子の物だと思われる日記を拾い、中を見ると、そこには、陽菜子が日ごろからお母さんに言いたくも言えない気持ちが書いてあるのを見て驚く。




「リリース」
草野 たき／作 ポプラ社 (YFク)

中2になる明良は、親戚から亡くなった父と同じ医者になるようにと言われている。しかし、明良にはプロのバスケットボール選手になるという夢があった。あるとき、親戚の前で夢の話をしたことがきっかけとなり、家族がバラバラになりかけてしまう。




「なりたい二人」
令女 ヒロ子／作 PHP 研究所 (YFレ)

中1のちえりと武儀は、幼なじみ。小さいときは仲がよかったが、高学年の頃からお互いを避けるようになる。そんな二人は、中学で同じクラスになり、将来の夢・自分のなりたい職業について調べる課題にいっしょに取り組むことになってしまう。しかし、それぞれが持つコンプレックスのせいで、なかなか本当の気持ちが言えず、調べる職業を決められないでいた。



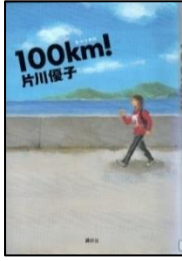
「アンネのバラ」
園森 康弘／文・写真 講談社 (289ア)

東京にある高井戸中学校では、毎年、「アンネ・フランクの形見」と名付けられたバラが咲きます。これは、40年前にアンネの父オットーさんからこの中学校に贈られたものです。平和への思いを抱きながらこのバラの世話をしている生徒たちの活動を紹介しています。




「100km!」
片川 優子／著 講談社 (YFカ)

100 kmを夜通し歩くという大会に出る羽目になった、みちる。彼女は体がぼろぼろになり、つらい思いをしてまでも歩き続ける理由や、あることをきっかけにすっかり変わってしまった母のことを考えながら、完歩を目指して歩いていく。




「ヤング・シャーロック・ホームズ vol.1」
アンドリュー・レーン／著 静山社 (Y933ヤ1)

夏休みを親戚の家で過ごすことになってしまった14歳のシャーロック・ホームズ。彼はこの街でマティという孤児の少年に出会う。この少年から不思議な煙を見たという話を聞いたシャーロックは、この正体を探ろうとする。このシリーズは現在8巻まで出ています。




「レギュラーになれないきみへ」
元永 知宏／著 岩波書店 (Y783レ)

野球やサッカーといった団体競技では、レギュラー選手だけではなく、多くの補欠選手がいます。この本では、補欠を経験した人や、その働きの大切さを知る人たちの話から、補欠の力とはどんなものなのかを考えていきます。




「いのちの食べかた」
森 達也／著 理論社 (Y648イ)

毎日のように食べている「肉」が、どうやって食卓まで並ぶのか知っている人は少ないと思います。毎日当たり前のように食べている肉のことを知らないでいることに疑問を感じた著者が、私たちが日ごろ食べている「いのち」について調べました。




「ムーミン全集 1 ムーミン谷の彗星」
トーベ・ヤンソン／著 講談社 (Y949ム1)

地球に近づいてくる彗星を調べるため、友だちのスニフと天文台へ向かうムーミンとロール。途中で出会ったスナフキンと友だちになり、3人で天文台を目指す旅を続けます。




「碧空の果てに」
濱野 京子／著 角川書店 (YFハ)

領主の娘として生まれたメイリン。父からは早く結婚し、夫を陰で支え、従う妻になれと言われる。この考えに納得のいかないメイリンは、17歳の誕生日を前に、自由を求め故郷を旅立つ。




「刑務所しか居場所がない人たち」
山本 謙司／著 大月書店 (Y326ケ)

刑務所は悪いやつらを閉じこめて、罪を償わせる場だとイメージしていた著者。しかし、実際に刑務所で服役したことから、この印象が180度変わります。さて、著者がみた刑務所の実態とはどんなものだったのでしょうか。



「みにくいシュレック」
ウィリアム・スタイグ／文と絵 セーラー出版 (YEス・ミ)

みにくい両親から生まれた、みにくいシュレック。ある日、両親はかわいい息子に少し苦労をさせるため旅に出すことを決めます。旅先でみんなから、みにくいと言われてもシュレックはめげずに旅を続けます。



「そらいろ男爵」
ジル・ボム／文 ティエリー・テテュー／絵 主婦の友社 (Eテ・ソ)

自分で作った飛行機に乗り、だれにも邪魔されることなく過ごしていた「そらいろ男爵」は、地上で起こった戦争に参加することになります。男爵は敵を倒すための砲弾を探しますが、何を砲弾として選んだのでしょうか?

